

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	藍野大学短期大学部
設置者名	学校法人藍野大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
大阪茨木 キャンパス	第一看護学科	夜・通信	0	0	7	7	7	
	専攻科 (地域看護学専攻)	夜・通信			4	4	4	
大阪富田林 キャンパス	第二看護学科	夜・通信		0	12	12	10	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページによる公表 大阪茨木キャンパス : https://www.aino-jc.jp/oic/about-aino-jc/disclosure/ 大阪富田林キャンパス : https://www.aino-jc.jp/otc/about-aino-jc/disclosure/
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	藍野大学短期大学部
設置者名	学校法人藍野大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページによる公表： http://www.aino.ac.jp/oat/
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会計事務所所長 税理士	2021.4.1～ 2024.3.31	事業会社支援、連携
非常勤	会社役員	2023.4.1～ 2026.3.31	事業会社支援、連携
非常勤	医療法人職員	2021.7.26～ 2024.7.25	産学官連携
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	藍野大学短期大学部
設置者名	学校法人藍野大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画書(シラバス)は、「藍野大学短期大学部 カリキュラム・ポリシー」に沿って作成している。 2021年度から、授業計画書(シラバス)は、Webシラバスを導入しシラバス検索システムのリンクをホームページ上に掲載しており、誰もが検索可能となっている。前年の12月頃から科目担当教員に作成を依頼し、3月には完成させて、当該年度の4月には閲覧できるようにしている。 授業計画書(シラバス)は、授業科目担当教員が、「講義名」「担当教員」「配当年次・時期」「基準単位数」「時間」「必修/選択別」「講義区分」「履修要件」「授業の概要」「到達目標」「学位授与方針との関連」「講義回数」「授業テーマ」「授業内容・方法」「担当」「授業時間外の学習」「教科書」「参考文献等」「成績評価の方法」「オフィスアワー」について明記している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>大阪茨木キャンパス： https://www.aino-jc.jp/oic/about-aino-jc/disclosure/ 大阪富田林キャンパス： https://www.aino-jc.jp/otc/about-aino-jc/disclosure/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 成績の評価は、科目担当者が筆記、口述、レポート、論文、実技等の試験を実施し行う。ただし、授業科目により他の方法をもって試験に代える又は試験と併用することができる。 授業計画書(シラバス)に記載している評価方法により履修及び試験に関する規程に基づいて評価を行う。履修要件がある科目については、その要件を満たしていない場合履修できない。 各授業科目の単位認定は、担当教員から提出された成績を基に、教務委員会、教授会で審議し、学長の承認を得て決定する。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

「藍野大学短期大学部 履修及び試験に関する規程」に沿って成績評価を行っている。この規程は学生がいつでも確認できるようにホームページ、学生便覧に掲載し、教員から説明等も行っている。

(成績の評価)

第5条 成績の評価は、科目担当者が試験により行う。ただし、授業科目により他の方法をもって試験に代える又は試験と併用することができる。

2 評価は、優（80点以上）、良（80点未満～70点）、可（70点未満～60点）、不可（60点未満）とする。

3 2019年度入学生以降は、GPA（Grade Point Average）による評価とする。

4 GPAの評価は、S（100点～90点）、A（90点未満～80点）、B（80点未満～70点）、C（70点未満～60点）、D（60点未満）の5段階とし、S～Cを合格、Dを不合格とする。また、欠席、受験資格なしの評価はF（対象外）とする。

5 GPAの算出方法は別表3のとおりとする。

6 試験以外の方法で評価する科目の場合においても、第8条に規定する条件を満たしていなければ、評価対象とはならない。

別表3（第5条関係）

成績表評価とGPAの算出方法

判定	評価	評点	1単位あたりのGP
合格	S	90点～100点	4
	A	90点未満～80点	3
	B	80点未満～70点	2
	C	70点未満～60点	1
不合格	D	60点未満	0
	F	対象外	0

GPAは、履修した科目毎の5段階評価（S、A、B、C、D）を4から0までのポイント（GP：Grade Point）に置き換えて単位数を掛け、その総和を履修単位数の合計で割った平均点とする。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

ホームページによる公表

大阪茨木キャンパス：

<https://www.aino-jc.jp/oic/about-aino-jc/disclosure/>

大阪富田林キャンパス：

<https://www.aino-jc.jp/otc/about-aino-jc/disclosure/>

学生便覧にも掲載している。

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）では、医療や看護の十分な専門知識を身につけているのみならず、医療環境の変化に対応していくことのできる柔軟性を持ち、さらに教育理念にあるように「医やすばかりでなく慰める」ことができる人間性の豊かな医療人を育成することを目指している。</p> <p>具体的にはカリキュラムに従った学修の結果、5つの項目並びに学科ごとに定める項目を満たし、かつ所定の単位を修得した者に対して卒業を認定すると明記している。</p> <p>卒業および修了の認定は、各学科においてそれぞれ決まった要件単位数を踏まえ、教務委員会、教授会で審議し、学長の承認を得て決定する。</p> <p>必要な単位を修得することで、卒業と同時に、第一看護学科および第二看護学科では短期大学士（看護学）の学位が授与される。</p> <p>独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の定める基礎資格を有する専攻科の学生は、所定の単位を修得し、レポート試験等の審査に合格すれば、修了後に学士（看護学）を取得することが可能である。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホームページによる公表 大阪茨木キャンパス： https://www.aino-jc.jp/oic/about-aino-jc/disclosure/ 大阪富田林キャンパス： https://www.aino-jc.jp/otc/about-aino-jc/disclosure/</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	藍野大学短期大学部
設置者名	学校法人藍野大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.aino.ac.jp/financial/
収支計算書又は損益計算書	http://www.aino.ac.jp/financial/
財産目録	http://www.aino.ac.jp/financial/
事業報告書	http://www.aino.ac.jp/businessreport/
監事による監査報告(書)	http://www.aino.ac.jp/financial/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページによる公表 大阪茨木キャンパス https://www.aino-jc.jp/oic/about-aino-jc/disclosure/ 大阪富田林キャンパス https://www.aino-jc.jp/otc/about-aino-jc/disclosure/
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: ホームページによる公表 大阪茨木キャンパス https://www.aino-jc.jp/oic/about-aino-jc/disclosure/ 大阪富田林キャンパス https://www.aino-jc.jp/otc/about-aino-jc/disclosure/
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 第一看護学科
教育研究上の目的 (公表方法: ホームページによる公表 https://www.aino-jc.jp/oic/about-aino-jc/disclosure/)
(概要) 第一看護学科では、卒業後に看護師として従事することを前提に、准看護師から看護師へのステップアップをするために、専門的知識と技術の修得、生命の尊厳を基盤とする倫理観、豊かな人間力を養い、ヒューマンケアを中核としたより実践的な看護の知識技能の修得を図る。また、チーム医療の中で看護の役割を果たすことができる人材育成を目指す。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: ホームページによる公表 https://www.aino-jc.jp/oic/about-aino-jc/disclosure/)
(概要) 藍野大学短期大学部では、医療や看護の十分な専門知識を身につけているのみならず、医療環境の変化に対応していくことのできる柔軟性を持ち、さらに教育理念にあるように「医やすばかりでなく慰める」ことができる人間性の豊かな医療人を育成することを目指している。 具体的にはカリキュラムに従った学修の結果、以下の項目を満たし、かつ所定の単位を修得した者に対して卒業を認定する。 ① 看護師あるいは保健師として十分な専門知識と技能を身につけている。 ② 患者あるいは対象となる個人やその家族等と共感を持って接することができて、円滑なコミュニケーションをとることができる。 ③ 社会人として、また医療人として豊かな人間性と高い倫理性を備えている。 ④ 自己のスキルアップ、新しい知識の修得について意欲的であり、その方法について理解している。 ⑤ 修得した知見を他者に対して論理的に説明できる。 ⑥ チーム医療の一員として同僚や他職種の人と協調性を保ちつつ積極的に関わることができる。 ⑦ 医療・保健・福祉における社会資源の知識を持ち、活用方法を考えることで支援システムについて知ることができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: ホームページによる公表 https://www.aino-jc.jp/oic/about-aino-jc/disclosure/)
(概要) 藍野大学短期大学部は、育成する人材像をディプロマ・ポリシーで定めている。その目標を達成するために以下の方針で教育課程の編成がなされている。また、学修効果を高めるために、アクティブ・ラーニングなどの教育方法を積極的に取り入れている。 ① 基礎分野・専門分野等、保健師助産師看護師学校養成所指定規則に則り、適切に科目を配置する。 ② 基礎科目、専門科目の比率を適切に定める。 ③ 各科目の履修年次、履修順序を最も効果的に学修できるように配置する。 ④ 豊かな人間性を涵養するため、幅広い教養教育を行う。 ⑤ 論理的な思考や、それに基づいたプレゼンテーション能力を身に付ける。 ⑥ 専門職業人としての自覚と能力を養うために、臨地実習を重視する。

各科目については、定期試験等により必要となる知識、技能が身についているかを判定する。

実習科目は、看護師・保健師としての専門知識及び技能、協調性、コミュニケーション能力等について評価基準を基に、ディプロマ・ポリシーで掲げる能力が身についているかを評価する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページによる公表

<https://www.aino-jc.jp/oic/about-aino-jc/disclosure/>）

（概要）

1. 藍野大学短期大学部 大阪茨木キャンパスで求める学生像

第一看護学科では、卒業後に看護師として従事することを前提に、准看護師から看護師へのステップアップをするために、専門的知識と技術の修得、生命の尊厳を基盤とする倫理観、豊かな人間力を養い、ヒューマンケアを中核としたより実践的な看護の知識・技能の修得を図る。また、チーム医療の中で看護の役割を果たすことができる人材育成を目指す。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に定める教育を通じて、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に定める学修の成果をあげるために必要な知識・技能や能力、目的意識・意欲等を備えた人を求める。

- (1) 准看護師の基礎的な知識と技術を修得し、看護学を学ぶために基礎的な知識（国語の読解力や言語運用能力、数学の計算能力）や理解力を身につけている。《知識・技能》
- (2) 相手と気持ちを分かち合い、人の痛みがわかる感性を持ち、かつ自分の意見を発信して、人との関係を大切にできる。《思考力・判断力・表現力》
- (3) 人や看護に関心を持ち、責任感や協調性を持って明確な目標に対しての実現に努力を惜しまず、主体的に挑戦し最後までやり遂げようとする意欲がある。《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》

2. 藍野大学短期大学部 大阪茨木キャンパス 入学者選抜の基本方針

「アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）」に基づき、「学力の3要素」である①「知識・技能」、②「思考力・判断力・表現力」及び③「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を多面的・総合的に評価を行う。

- (1) 一般選抜入試では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、小論文や個別学力試験、出願書類等によって総合的に評価する。この入学試験では、学力の3要素のうち、①②に重点を置いて判定する。
- (2) 学校推薦型選抜入試では、学校長から推薦され、入学を強く希望する学修意欲の高い生徒を選抜すべく、小論文や面接、出願書類等にもとづいて総合的に学力の3要素を評価する。この入学試験では、学力の3要素のうち、②に重点を置いて判定する。
- (3) 総合型選抜入試では、小論文や面接、出願書類等によって、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に見ることによって学力の3要素を評価する。この入学試験では、学力の3要素のうち、②③に重点を置いて判定する。

学部等名 第二看護学科
<p>教育研究上の目的（公表方法：ホームページによる公表 https://www.aino-jc.jp/otc/about-aino-jc/disclosure/）</p>
<p>（概要）</p> <p>第二看護学科では、看護に関しての専門的知識と技術の修得、生命の尊厳を基盤とする倫理観、豊かな人間力を養い、ヒューマンケアを中核としたより実践的な看護の知識技能の修得を図り、チーム医療の中で看護の役割を果たすことができる人材育成を目指す。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページによる公表 https://www.aino-jc.jp/otc/about-aino-jc/disclosure/）</p>
<p>（概要）</p> <p>藍野大学短期大学部では、医療や看護の十分な専門知識を身につけているのみならず、医療環境の変化に対応していくことのできる柔軟性を持ち、さらに教育理念にあるように「医やすばかりでなく慰める」ことができる人間性の豊かな医療人を育成することを目指している。</p> <p>具体的にはカリキュラムに従った学修の結果、以下の項目を満たし、かつ所定の単位を修得した者に対して卒業を認定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①看護師あるいは保健師として十分な専門知識と技能を身につけている。 ②患者あるいは対象となる個人やその家族等と共感を持って接することができて、円滑なコミュニケーションをとることができる。 ③社会人として、また医療人として豊かな人間性と高い倫理性を備えている。 ④自己のスキルアップ、新しい知識の修得について意欲的であり、その方法について理解している。 ⑤修得した知見を他者に対して論理的に説明できる。 ⑥チーム医療の一員として同僚や他職種の人と協調性を保ちつつ積極的に関わることができる。 ⑦医療・保健・福祉における社会資源の知識を持ち、活用方法を考えることで支援システムについて知ることができる。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページによる公表 https://www.aino-jc.jp/otc/about-aino-jc/disclosure/）</p>
<p>（概要）</p> <p>藍野大学短期大学部は、育成する人材像をディプロマ・ポリシーで定めている。その目標を達成するために以下の方針で教育課程の編成がなされている。また、学修効果を高めるために、アクティブ・ラーニングなどの教育方法を積極的に取り入れている。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①基礎分野・専門分野等、保健師助産師看護師学校養成所指定規則に則り、適切に科目を配置する。 ②基礎科目、専門科目の比率を適切に定める。 ③各科目の履修年次、履修順序を最も効果的に学修できるように配置する。 ④豊かな人間性を涵養するため、幅広い教養教育を行う。 ⑤論理的な思考や、それに基づいたプレゼンテーション能力を身に付ける。 ⑦ 専門職業人としての自覚と能力を養うために、臨地実習を重視する。 <p>各科目については、定期試験等により必要となる知識、技能が身につけているかを判定する。</p>

実習科目は、看護師・保健師としての専門知識及び技能、協調性、コミュニケーション能力等について評価基準を基に、ディプロマ・ポリシーで掲げる能力が身につけているかを評価する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページによる公表

<https://www.aino-jc.jp/otc/about-aino-jc/disclosure/>）

（概要）

1. 藍野大学短期大学部 大阪富田林キャンパスで求める学生像

第二看護学科では、看護に関しての専門的知識と技術の修得、生命の尊厳を基盤とする倫理観、豊かな人間力を養い、ヒューマンケアを中核としたより実践的な看護の知識・技能の修得を図り、チーム医療の中で看護の役割を果たすことができる人材育成を目指す。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に定める教育を通じて、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に定める学修の成果をあげるために必要な知識・技能や能力、目的意識・意欲等を備えた人を求める。

- (1) 高等学校の教育課程を幅広く修得し、看護学を学ぶために基礎的な知識（国語の読解力や言語運用能力、数学の計算能力、科学的素養）や理解力を身につけている。《知識・技能》
- (2) 相手と気持ちを分かち合い、人の痛みがわかる感性を持ち、かつ自分の意見を発信して、人との関係を大切にできる。《思考力・判断力・表現力》
- (3) 人や看護に関心を持ち、責任感や協調性を持って明確な目標に対しての実現に努力を惜しまず、主体的に挑戦し最後までやり遂げようとする意欲がある。《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》

2. 藍野大学短期大学部 大阪富田林キャンパス 入学者選抜の基本方針

第二看護学科の選抜試験では、「アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）」に基づき、「学力の3要素」である①「知識・技能」、②「思考力・判断力・表現力」および③「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を多面的・総合的に評価を行う。

- (1) 一般選抜入試では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、個別学力試験、面接、出願書類等によって総合的に評価する。この入学試験では、学力の3要素のうち、①②に重点を置いて判定する。
- (2) 学校推薦型選抜入試では、学校長から推薦され、入学を強く希望する学修意欲の高い生徒を選抜すべく、国語、面接、出願書類等にもとづいて総合的に学力の3要素を評価します。また知識・技能の観点から、高等学校での学習成績を調査書の「全体の学習成績の状況」により評価する。この入学試験では、学力の3要素のうち、②に重点を置いて判定する。
- (3) 総合型選抜入試（講義方式、プレゼンテーション方式）では、講義等理解力試験や受講態度、プレゼンテーション・面接、出題書類等によって、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に見ることによって学力の3要素を評価する。この入学試験では、学力の3要素のうち、②③に重点を置いて判定する。
- (4) 社会人選抜入試では、小論文、面接、出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に見ることによって学力の3要素を評価する。この入学試験では、学力の3要素のうち、②③に重点を置いて判定する。

<p>学部等名 専攻科（地域看護学専攻）</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：ホームページによる公表 https://www.aino-jc.jp/oic/about-aino-jc/disclosure/）</p>
<p>（概要）</p> <p>専攻科（地域看護学専攻）では、卒業後に保健師として従事することを前提に、地域・企業・学校などの活動の場において、あらゆる世代やあらゆる健康レベルの個人、家族、さらに集団・組織を対象とした公衆衛生看護活動を展開できる人材育成を目指す。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページによる公表 https://www.aino-jc.jp/oic/about-aino-jc/disclosure/）</p>
<p>（概要）</p> <p>藍野大学短期大学部では、医療や看護の十分な専門知識を身につけているのみならず、医療環境の変化に対応していくことのできる柔軟性を持ち、さらに教育理念にあるように「医やすばかりでなく慰める」ことができる人間性の豊かな医療人を育成することを目指している。</p> <p>具体的にはカリキュラムに従った学修の結果、以下の項目を満たし、かつ所定の単位を修得した者に対して卒業を認定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①看護師あるいは保健師として十分な専門知識と技能を身につけている。 ②患者あるいは対象となる個人やその家族等と共感を持って接することができて、円滑なコミュニケーションをとることができる。 ③社会人として、また医療人として豊かな人間性と高い倫理性を備えている。 ④自己のスキルアップ、新しい知識の修得について意欲的であり、その方法について理解している。 ⑤修得した知見を他者に対して論理的に説明できる。 ⑥地域の健康課題を明確にし、その課題解決に向けて計画・立案する方法を理解している。 ⑦地域に存在する社会資源の把握及び活用方法を修得し、必要な支援システムや資源について考えることができる。 ⑧公衆衛生看護の対象となる個人・家族・集団・組織に対して、対象別の実践方法を理解している。 ⑨関係機関・関係職種との協調性を保ちつつ積極的に関わることができる。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページによる公表 https://www.aino-jc.jp/oic/about-aino-jc/disclosure/）</p>
<p>（概要）</p> <p>藍野大学短期大学部は、育成する人材像をディプロマ・ポリシーで定めている。その目標を達成するために以下の方針で教育課程の編成がなされている。また、学修効果を高めるために、アクティブ・ラーニングなどの教育方法を積極的に取り入れている。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①基礎分野・専門分野等、保健師助産師看護師学校養成所指定規則に則り、適切に科目を配置する。 ②基礎科目、専門科目の比率を適切に定める。 ③各科目の履修年次、履修順序を最も効果的に学修できるように配置する。 ④豊かな人間性を涵養するため、幅広い教養教育を行う。 ⑤論理的な思考や、それに基づいたプレゼンテーション能力を身に付ける。

⑥専門職業人としての自覚と能力を養うために、臨地実習を重視する。

各科目については、定期試験等により必要となる知識、技能が身についているかを判定する。

実習科目は、看護師・保健師としての専門知識及び技能、協調性、コミュニケーション能力等について評価基準を基に、ディプロマ・ポリシーで掲げる能力が身についているかを評価する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページによる公表

<https://www.aino-jc.jp/oic/about-aino-jc/disclosure/>)

（概要）

1. 藍野大学短期大学部 大阪茨木キャンパスで求める学生像

専攻科（地域看護学専攻）では、卒業後に保健師として従事することを前提に、地域・企業・学校などの活動の場において、あらゆる世代やあらゆる健康レベルの個人、家族、さらに集団、組織を対象とした公衆衛生看護活動を展開できる人材育成を目指す。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に定める教育を通じて、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に定める学修の成果をあげるために必要な知識・技能や能力、目的意識・意欲等を備えた人を求める。

- (1) 公衆衛生看護を学ぶための基礎知識（特に看護学・公衆衛生学など）、看護技術や理解力を身につけている。《知識・技能》
- (2) 物事を多面的に捉え、課題や問題に気づき、その解決に向けて論理的に表現できる。《思考力・判断力・表現力》
- (3) 人々の健康に関心を持ち、責任感や協調性を持って明確な目標に対しての実現に努力を惜しまず、主体的に挑戦し最後までやり遂げようとする意欲がある。《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》

2. 藍野大学短期大学部 大阪茨木キャンパス 入学者選抜の基本方針

「アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）」に基づき、「学力の3要素」である①「知識・技能」、②「思考力・判断力・表現力」及び③「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を多面的・総合的に評価を行う。

- (1) 一般選抜入試では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、小論文や個別学力試験、面接、出願書類等によって総合的に評価する。この入学試験では、学力の3要素のうち、①②に重点を置いて判定する。
- (2) 学校推薦型選抜入試では、学校長から推薦され、入学を強く希望する学修意欲の高い生徒を選抜すべく、小論文や面接、出願書類等にもとづいて総合的に学力の3要素を評価する。この入学試験では、学力の3要素のうち、②に重点を置いて判定する。
- (3) 社会人選抜入試では、小論文や面接、出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に学力の3要素を評価する。この入学試験では、学力の3要素のうち、①に重点を置いて判定する。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページによる公表 大阪茨木キャンパス https://www.aino-jc.jp/oic/about-aino-jc/disclosure/ 大阪富田林キャンパス https://www.aino-jc.jp/otc/about-aino-jc/disclosure/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
第一看護学科	—	3人	1人	9人	4人	2人	19人
第二看護学科	—	3人	2人	10人	7人	1人	23人
専攻科（地域看護学専攻）		0人	1人	3人	0人	0人	4人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		78人					78人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：ホームページによる公表 大阪茨木キャンパス https://www.aino-jc.jp/oic/about-aino-jc/disclosure/ 大阪富田林キャンパス https://www.aino-jc.jp/otc/about-aino-jc/disclosure/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
第一看護学科	100人	118人	118.0%	200人	247人	123.5%	0人	0人
第二看護学科	80人	77人	96.3%	240人	275人	114.6%	0人	0人
専攻科（地域看護学専攻）	40人	40人	100%	40人	40人	100%	0人	0人
合計	220人	235人	106.8%	480人	562人	117.1%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
第一看護学科	129人 (100%)	7人 (5.4%)	116人 (89.9%)	6人 (4.7%)
第二看護学科	78人 (100%)	7人 (9.0%)	68人 (87.2%)	3人 (3.8%)
専攻科(地域看護学専攻)	39人 (100%)	0人 (0%)	38人 (97.4%)	1人 (2.6%)
合計	246人 (100%)	14人 (5.7%)	222人 (90.2%)	10人 (4.1%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
【第一看護学科】 藍野病院、藍野花園病院、国立循環器病研究センター、大阪医科薬科大学病院、県立尼崎総合医療センター、大手前病院、九州労災病院、彦根中央病院、吹田徳洲会病院、済生会茨木病院、ほうせんか病院、みどりヶ丘病院 等				
【第二看護学科】 大阪府立中河内救命救急センター、岸和田市民病院、奈良県立医科大学附属病院、近畿大学病院、大阪府済生会富田林病院、八尾市立病院、北野病院、富永病院、城山病院、阪和記念病院、大阪暁明館病院、高槻病院、藍野病院、青葉丘病院 他				
【専攻科(地域看護学専攻)】 大阪府、福岡県、山梨県、大阪市、高槻市、尼崎市、箕面市、名古屋市、鹿児島市、奈良市、静岡市、那覇市、Osaka Metro(大阪市高速電気軌道株式会社)、株式会社パソナグループ 等				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
「藍野大学短期大学部 カリキュラム・ポリシー」を基に授業科目、授業方法、内容および授業計画について授業計画書(シラバス)に記載している。
授業計画書(シラバス)は、授業科目担当教員が、「講義名」「担当教員」「配当年次・時期」「基準単位数」「時間」「必修/選択別」「講義区分」「履修要件」「授業の概要」「到達目標」「学位授与方針との関連」「講義回数」「授業テーマ」「授業内容・方法」「担当」「授業時間外の学習」「教科書」「参考文献等」「成績評価の方法」「オフィスアワー」について明記している。
各科目については、定期試験等により必要となる知識、技能が身についているかを判定

する。実習科目は、看護師・保健師としての専門知識及び技能、協調性、コミュニケーション能力等について評価基準を基に、ディプロマ・ポリシーで掲げる能力が身についているかを評価する。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
学修の評価は、授業計画書（シラバス）に記載している評価方法（筆記試験、口述、レポート、論文、実技等）により履修及び試験に関する規程に基づき科目担当教員が行う。				
履修要件がある科目については、その要件を満たしていない場合、履修できない。「藍野大学短期大学部 履修及び試験に関する規程」「藍野大学短期大学部GPA評価の取扱いに関する内規」に則り、S（90点～100点）、A（90点未満～80点）、B（80点未満～70点）、C（70点未満～60点）、D（60点未満）の5段階とし、S～Cを合格、Dを不合格としている。1単位あたりのGPAをS（4）、A（3）、B（2）、C（1）、D（0）としてGPAを算出し評価する。また、欠席、受験資格なしの評価はF（対象外）としている。各期末に内規に沿って各学生のGPAを算出し、必要な学生に学習指導を行う。				
年度末には、GPAが1.5以上かつ年間のD評価科目が合計3単位以下の学生は、課題の提出または補講を受けることを条件に該当科目の単位認定試験を受けることができる。F評価については、単位認定試験の対象とせず、実習科目も対象としない。各授業科目の単位認定は、担当教員から提出された成績を基に、教務委員会、教授会で審議し、学長の承認を得て決定する。				
ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）では、医療や看護の十分な専門知識を身につけているのみならず、医療環境の変化に対応してゆくことのできる柔軟性を持ち、さらに教育理念にあるように「医やすばかりでなく慰める」ことができる人間性の豊かな医療人を育成することを目指している。				
具体的にはカリキュラムに従った学修の結果、5つの項目を満たし、かつ所定の単位を修得した者に対して卒業を認定することを明記している。				
卒業および修了の認定は、各学科それぞれ決まった要件単位数を踏まえて、教務委員会、教授会で審議し、学長の承認を得て決定する。				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
大阪茨木 キャンパス	第一看護学科	69単位	有・無	単位
	専攻科 (地域看護学専攻)	33単位	有・無	単位
大阪富田林 キャンパス	第二看護学科	102単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページによる公表 大阪茨木キャンパス https://www.aino-jc.jp/oic/about-aino-jc/disclosure/ 大阪富田林キャンパス https://www.aino-jc.jp/otc/about-aino-jc/disclosure/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
大阪茨木 キャンパス	第一看護 学科	760,000円	250,000円	441,000円	実験実習費、教育充実費、 学園祭運営費
	専攻科	850,000円	400,000円	400,000円	実験実習費
大阪富田林 キャンパス	第二看護 学科	1,350,000円	250,000円	1,000円	学園祭運営費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>① 学業成績優秀学生生徒給付奨学金制度 本学に在籍する学生生徒において、学業成績が特に優秀であり、かつ、人物的にも優れた者に対して学資を給付することにより、学生生徒の勉学意欲および修学環境の向上並びに優秀な人材の輩出を図ることを目的とした、本法人独自の修学支援制度を運用している。</p> <p>② 学納金納付期限の弾力的対応 新型コロナウイルス感染症の拡大等にもない、経済的に困難を抱える家庭がさらに増加していることから、学納金納付については継続して延納・分納制度を本法人として積極的に運用している。</p> <p>③ グループ病院奨学金制度 本法人のグループ病院である「医療法人恒昭会」および「医療法人恭昭会」より、本学で学ぶための学費等の貸与を受けることができる制度を運用している。相互に緊密な連携を図ることで、一定の条件を満たせば奨学金全額の返還が免除される制度である。</p> <p>④ 提携病院奨学金制度 大阪府、京都府の各病院より、本学で学ぶための学費等の貸与を受けることができる制度を運用している。実習病院をはじめ、卒業生が活躍している事業所が多く、一定の条件を満たせば奨学金全額の返還が免除される制度である。</p> <p>⑤ 日本学生支援機構奨学金制度 「給付奨学金」、「第一種・第二種奨学金」、「緊急特別無利子貸与型奨学金」など、個々の家庭環境に応じた給付・貸与を受けることができる独立行政法人が運用する制度を本学でも利用している。また、修学支援新制度と連動する「授業料減免制度」も継続して活用している。</p> <p>⑥ 日本政策金融公庫による教育ローン制度 入学時や在学時に必要となる資金を融資される制度を、希望や必要に応じて個々に案内している。</p> <p>⑦ 株式会社ジャックスによる教育ローン制度 上記企業と提携したローン(悠裕プラン)制度で、希望や必要に応じて個々に案内している。</p> <p>⑧ 各都道府県・自治体奨学金制度 地方自治体の教育委員会や法人組織が募集する貸与奨学金で、各都道府県がその地方の出身者を対象に行っている制度を活用している。本学の奨学金案内冊子においても紹介してお</p>
--

<p>り、学生に広く周知を図っている。</p> <p>⑨ 新学舎の活用（大阪茨木キャンパス） 2020年竣工の新学舎である「Medical・Learning・Commons（M・L・C）」に、学生同士のディスカッションを促進するグループ学習室やアクティブコモンズを設置することで、多様な学びを生み出す空間を提供している。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>（概要）</p> <p>① 就職支援（独自の求人情報システム） 本学に届く求人票については、就職資料室に配架しているエリアごとの求人票ファイルのみならず、求人管理システムに登録することで、場所や時間を選ばないWeb上でも同様の求人情報を提供している。特に、2022年4月よりこれまで運用してきた藍野大学求人情報システム“AINONAVI”を一新し、全国の大学が共同参画する「求人検索 NAVI」を導入することで、これまで以上に学生や各病院等施設の利便性向上を図った。就職試験内容、就職決定状況などをワンストップで検索・管理できる体制を整えることで、学生の就職活動を後押ししている。また、本法人の「藍野大学キャリア開発・研究センター」と連携しながら、卒業後についても希望に応じて継続した支援を実施している。</p> <p>② 就職支援（履歴書添削・模擬面接） 個々の学生に対する支援の一環として、受験時期に応じた履歴書添削および模擬面接を実施している。教員と事務職員が連携を図りながら、違った視点からアドバイスを行うことで、第一志望事業所への就職をサポートしている。新型コロナウイルス感染症対策などを含めて、SNSを活用した指導も継続して行っている。</p> <p>③ 就職支援（就職説明会） 実習病院を主とした「学内就職説明会&奨学金説明会」を継続して実施している。学生に対して多彩な就職先病院を紹介することで、進路選択の幅を広げるとともに、早期の就職決定を支援している。</p> <p>④ 就職・進学支援（就職・進学関連資料設置） 就職資料室には求人票の配架のみならず、医療・福祉に関連する各種就職資料や大学3年次編入・専門学校進学資料なども自由に閲覧できるよう配置している。また、就職サポート業者が主催するガイダンス案内や冊子などの配布も行っている。</p> <p>⑤ 各種就職対策講座 就職活動に必要なマナー向上などを目的とした外部専門業者による講座を実施することで、早期就職に対する意識付けを行っている。具体的には「就職活動準備講座」、「履歴書・面接対策講座」、「学外実習前マナー講座」など、時期に応じた対策講座を行うことで、個々の能力底上げとモチベーション向上を図っている。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>（概要）</p> <p>① スクールカウンセラー 毎週、定期的にスクールカウンセラーによるカウンセリングを実施している。学生のみならず、教職員なども対象としており、申込み方法についてもWeb経由はもちろん、より簡単に申し込めるよう「学生相談申込用紙」を学内に常設し、「学生相談申込箱」を設置するなど、利便性を高めている。</p> <p>② 学生相談部会 本学内に「学生相談部会」を設置しており、スクールカウンセラーとも連携しながら、学</p>

生の相談内容や個々の案件に応じて迅速かつ柔軟な対応を行っている。また、「学生の困りごとに関するアンケート」をはじめとする各種調査などを実施することで、学内環境や学生生活の改善に活用している。

③ 障害学生修学支援部会

様々な障害を抱えた学生への支援をより強化するため、本学内に「障害学生修学支援部会」を設置しており、専任教員に対するFD・SD研修の実施をはじめ、合理的配慮を踏まえた修学支援方法について学内での対応について協議を行っている。また、学内に「修学支援コーディネーター」を配置（大阪茨木キャンパス）し、スクールカウンセラーとも連携しながら学生の自立を促す教育体制を構築している。

④ 学生生活サポート

教員（チューター制）をはじめ、学生支援グループ担当者が対面やSNSの積極的活用により、学生一人ひとりに寄り添った丁寧な学生相談等を実施し、実習や授業はもとより、学生寮などにおける生活面に関するサポートを行っている。

⑤ 「学生生活スタートブック」の配付（大阪茨木キャンパス）

新入生を対象とした学生生活啓発ブックを継続して作成・配布している。学生がトラブルに巻き込まれやすい「薬物」「飲酒」「SNS」をはじめ、「心の病」「防犯」「人間関係」などについての注意点をわかりやすくまとめた冊子としており、本学の学生相談窓口の案内、公的機関の相談窓口連絡先なども掲載している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページによる公表

大阪茨木キャンパス

<https://www.aino-jc.jp/oic/about-aino-jc/disclosure/>

大阪富田林キャンパス

<https://www.aino-jc.jp/otc/about-aino-jc/disclosure/>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F227310108623
学校名	藍野大学短期大学部
設置者名	学校法人藍野大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		111人	102人	113人
内 訳	第Ⅰ区分	67人	65人	
	第Ⅱ区分	25人	26人	
	第Ⅲ区分	19人	11人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				113人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	9人	0人	3人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	9人	0人	3人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）				
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	3人	0人	12人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	3人	0人	12人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。